

(注)「コモロ連合月報」は、新聞報道等をまとめたものであり、当館として事実関係を確認したものではありません。記事中にコモロ政府の公式見解と異なる内容が含まれる場合もあるため、予めご留意願います。なお、各記事冒頭の日付は、報道された日付となっています。

コモロ連合月報（2025年2月）

《要点》

【内政】

●7日 コモロ Al-Watwan 紙によると、6日、最高裁判所は、1月12日に実施された国民議会選挙第一回投票で無効と判断された4選挙区の最終結果を発表した。与党 CRC（La Convention pour le Renouveau des Comores：コモロ再生会議）党は対象となった4つの選挙区のうち3選挙区で勝利し、その優勢を裏付けた。

●17日 コモロ各紙によると、2月16日に地方議会選挙が実施された。投票所付近では選挙をめぐる騒ぎは発生しなかったものの、投票率は低く、投票を拒否する地域もあった。

【外政】

●10日 コモロ Al Fajr 紙によると、AUC 委員長に立候補しているランジアマンジャトゥ（RANDRIAMNDRATO Richard）元マダガスカル外相は、フランス語圏アフリカ諸国を訪問し選挙活動をしているにもかかわらず、マダガスカルに隣接する国であるコモロを訪問せず、アザリ大統領の支持を求めなかった。同紙によれば、この非友好的な態度が、コモロとマダガスカルの外交関係悪化を説明している。

【経済】

●10日 コモロ Al-Fajr 紙によると、IMF ミッションは、コモロ当局や関係者との会議や研修を実施し、透明性強化と予算報告に関する報告をイブラヒム財務・予算・銀行部門大臣に行った。また、同ミッションはコモロ当局の財政管理改革と財政データ公表を評価した。

1 内政

7日 コモロ Al-Watwan紙によると、6日、最高裁判所は、1月12日に行われた国民議会選挙第一回投票で無効と判断された4選挙区の最終結果を発表した。立候補者の中で、ダウダラ・アブバカル（Daouidar aboubacar）氏がドモニ（Domoni）1区で53.16%の得票率を獲得し、当選した。ドモニ（Domoni）3区では、アフメド・アリ・バカル（ahmed ali Bacar）氏が53.54%を獲得し、ニユマケレ（Nyumakele）3区ではソルトイン・アリ（Soultoine ali）氏が59.54%を獲得し当選。イサンダ・スッド（Itsandra Sud）では、サイード・ウッセイニ・アブーバカル（Said Housseini aboubacar）が54.27%の票を獲得した。与党CRC（La Convention pour le Renouveau des Comores：コモロ再生会議）党は対象となった4つの選挙区のうち3選挙区で勝利し、その優勢を裏付けた。

17日 コモロ各紙によると、2月16日に地方議会選挙が実施された。投票所付近では選

挙をめぐる騒ぎは発生しなかったものの、投票率は低く、投票を拒否する地域もあった。

2 外政

10日 コモロAl Fajr紙によると、AUC委員長に立候補しているランジアマンジャトゥ（RANDRIAMNDRATO Richard）元マダガスカル外相は、フランス語圏アフリカ諸国を訪問し選挙活動をしているにもかかわらず、マダガスカルに隣接する国であるコモロを訪問せず、アザリ大統領の支持を求めなかった。同紙によれば、この非友好的な態度が、コモロとマダガスカルの外交関係悪化を説明している。

26日 コモロAl-Watwan紙によると、アザリ大統領は25日、大統領府で3人の新任大使の信任状を受け取った。新任大使は、マダガスカル駐在のローランド・コビア（Roland Kobia）欧州連合大使、マダガスカル駐在のトーマス・テルステゲン（Thomas Terstegen）ドイツ大使、モザンビーク駐在のルイザ・マチャド・デ・パルマ・フラゴソ（Luisa Machado）ポルトガル大使である。

3 経済

10日 コモロAl-Fajr紙によると、IMFミッションは、コモロ当局や関係者との会議や研修を実施し、透明性強化と予算報告に関する報告をイブラヒム財務・予算・銀行部門大臣に行った。また、同ミッションはコモロ当局の財政管理改革と財政データ公表を評価した。同大臣はIMFによる技術支援に感謝し、改革継続の重要性を強調。今後は予算の透明性を強化し、効率的な財政管理に向けて協力することを約束した。

（了）